

東京大学 古谷科長挨拶

東日本大震災の地震・津波・放射能汚染により、第一次産業が大きな災害を受けた。

東大農学部は、直後からグループをつくり、課題を構造化し、難しい産業再生の実現にチャレンジしてきた。研究報告会は9回を重ね、次回は6月14日に予定している。

20世紀の資源消費から豊かな社会という傾向は限界を迎えている。今回の事故は、私たちに喫緊の課題を突き付けた。ふくしま再生の会などNPO活動とも協力し、知の創造・生活の持続的な再生に向けて、今後とも協働活動を続けていく決意である。